

吉田町地域教育協議会 家庭・地域・学校が一緒に！ ～挨拶をする・履き物を揃える～

平成22年度第1回吉田町地域教育協議会が7月12日(月)に吉田交流センターで開催されました。

この協議会は「地域全体で子どもたちを応援しよう」と、平成20年度に市内の各中学校区を単位に発足しました。当日の協議会には、総合センターや吉田・田井地区振興協議会代表者の方、保育所・小中学校の関係者の方々など20名ばかりの参加がありました。会議では、保育所・小中学校での子ども達の様子についての説明や、両地区振興協議会から放課後の子ども達の様子について話を聴きました。

その後、意見交換が行われ、吉田町の子ども達の強みや弱みを話し合いながら、町全体で「子どもを支援する取組み」について協議をしました。

中学校は、生徒会活動で取り組んでいる「あいさつ運動」と、学校で奨励している「履き物を揃える」ことについて紹介しました。そして、家庭や地域でも一緒に取り組んでほしいと提案し、参加者の皆さんから共感と賛同の声をいただきました。吉田町地域教育協議会では、地域が一体となり「あいさつ運動」と「履き物を揃える活動」に取り組もうと話し合いました。皆様方のご理解ご協力をお願いいたします。



「子どもたちの応援団」吉田町地域教育協議会

中学校の「あいさつ運動」と「履き物を揃える活動」

・生徒会の大きな目標の一つに「気持ちの良いあいさつ」を掲げています。そして、「あいさつは、心と心のキャッチボール STOP NO REACTION!」をキャッチフレーズに、あいさつ運動を展開しています。また、毎週水曜日の朝には、生徒会執行部が先頭に立ち、登校する生徒に大きな声で気持ちの良いあいさつを行っています。保護者の皆様、地域の皆様も、この取組にご支援ご協力をお願いします。

・本校の自慢の一つは「便所のスリッパが常に揃っている」ことです。この状況は「履き物の乱れは、心の乱れ」を合い言葉に学校全体で取り組んできた成果だと思えます。この「履き物を揃える」という良い習慣を家庭や地域での生活の中でも育てていただき、定着を図ってほしいと思えます。

基礎学力の定着を図る 校内研修会を実施 ～指導方法の工夫や改善を目指す～

本校は、平成23年度の島根県教育研究大会において「豊かな心を育む教育活動」をテーマに提案発表を行います。これを機に、従来の研究主題の見直しを行いました。本年度の研究主題は、「生き生きと活動し、互いに認め合う生徒の育成」～基礎的・基本的な学習内容の定着と、感動を表現する力を高めるために～と改めました。

新たな研究主題のもと、校内研修会を8月2日に実施しました。講師に、島根大学教育学部付属学校の指導教諭 宮崎紀雅先生をお招きし「中学校における生徒支援の進め方」について演習を交えながら具体的な学習指導の方法について学びました。

この研修会では、生徒たちの「困り感」にどのように寄り添っていくのか。そして、一人一人違う認知特性や学習スタイルにどのように対応するのか。など、個々の課題に応じた手立てを工夫し、実践することの重要性を改めて感じ取ることができました。



校内研修会

体育祭 9/12(日) スローガン「魅せろ!! 吉中の絆」

生徒会を中心に1学期末から準備をしてきました体育祭を9月12日(日)9時より開催します。

秋空のもと繰り広げます、生徒たちの一生懸命な演技をお楽しみください。ご多用の折とは存じますが、ご近所お誘い合わせのうえ、ご声援いただきますようお願いいたします。

＝ 体育祭の内容と予定時刻 ＝

- ・入場行進 開会式 9:00～9:15
- ・競技開始(午前の部) 9:30～11:40
- ・応援合戦(全校生徒) 13:00～13:25
- ・午後の競技 閉会式 13:50～15:00



光輝「全力疾走」

金賞 =県吹奏楽コンクール=
聴衆から♪大きな拍手♪
 ～達成感のある演奏に笑顔～

全日本吹奏楽コンクール島根県大会が7月31日(土)に出雲市民会館で開催されました。中学校小編成の部(参加26校)に出場した吉田中は、聴く人に感動を与える素晴らしい演奏で“金賞”を受賞しました。

吹奏楽部は、このコンクールを目標に「最高の舞台上で最高の演奏」ができるよう、3年生を中心に気持ちの合った練習を積み重ねてきました。

夏休みに入ってから、弁当持参の1日練習やコンクールの会場をイメージした体育館での練習にも取り組みました。そして、基礎基本を大切に丁寧な練習と、講師の皆さんによるレッスンを重ね、金賞の獲得と中国大会への出場を目指しました。



体育館で最後の練習(7/30)

当日は、張り詰めた雰囲気の中で「福島弘和作曲『春に寄せて～風は光り春はひらめく～』」を堂々と演奏しました。生徒たちの、気持ちを一つにした演奏は、音楽とともに情景を思い描かせてくれました。雪解けから静かに春を迎える山里の様子が、清らかなメロディーとともに伝わって来ました。また、様々な春の息吹を、切れのあるリズムと力強い音色から感じ取ることができました。きっと、演奏者の思いが聴く人に伝わってきたからでしょう。

生徒たちの堂々とした演奏は、春の色彩や表情を豊かに表現し、これまでの練習の成果を十分に発揮するものでした。会場からは、吉中吹奏楽部の演奏に、大きな感嘆の拍手が沸き起こっていました。

生徒たちが目指した中国大会への出場は、叶いませんでしたが、演奏後の生徒たちの笑顔から、目標としていた「自分たちの思いを伝え、聴く人に感動を与える、満足のいく演奏」が出来たことを感じ取りました。そして、少し緊張しながらも、自信に満ちた表情で演奏する生徒たちに誇らしさを感じ、達成感に満ちた笑顔に喜びを感じました。

♪自分を信じて仲間を信じて♪



満面の笑顔で“金賞”

県総体 バレーボール
頑張る姿に“汗と涙”
 ～最後の一瞬まで「一生懸命」～

第43回島根県中学校総合体育大会バレーボールの部が7月22日～24日に大田市総合体育館で開催されました。この大会には、地区予選を勝ち抜いた、男子19チーム、女子30チームが集まり、中国大会への出場を目指し熱戦を繰り広げました。

この大会に、雲南市飯南町の代表として出場したバレー部は、1回戦 八雲中(松江八東代表)との接戦を制し2回戦に臨みました。2回戦 金城中(浜田代表)には、カーブを及ばず敗戦の涙をのみました。

大会の結果は、生徒たちの目標には届きませんでしたが、最後まで一生懸命に頑張った姿こそ部活動の成果だと思います。3年生を中心に頑張った部活動は、一人一人に自信と勇気をもたらしました。

○7月22日 1回戦
 会場：大田市総合体育館 吉田 2

22-25
25-18
25-23

 1 八雲

第1セットは、リズムが掴めない試合展開となり善戦しましたがセットを失いました。

第2セットは、冷静なレシーブと強気の攻撃から拾って繋ぐ吉中バレーでセットを取り返しました。

第3セットは、相手の粘り強いレシーブに苦しみましたが、チームプレーで勝利に導きました。

○7月23日 2回戦
 会場：大田市総合体育館 吉田 0

24-26
19-25

 2 金城

第1セットは、互いに譲らないゲーム展開から終盤リードをしましたが、攻め切れませんでした。

第2セットは、相手の攻撃的なサーブと堅実なレシーブに阻まれ、3回戦には進出できませんでした。



強烈なスパイク



チーム一丸

猛暑の中! 力の限り「走・跳」

益田運動公園陸上競技場において7月24日・25日に県中学校総合体育大会陸上競技が行われました。

県内のトップアスリートたちとともに、雲南市飯南町の代表として、本校から田村君(3年男子100M・走幅跳)、森山君(走幅跳)、内田君(全年男子200M)の3年生男子3名が出場しました。猛暑の中、選手たちは「渾身の走り」や「気合いの跳躍」で精一杯に競技を行いました。大会では、思うような記録や結果は残せませんでしたが、島根県のトップレベルの力を肌で感じとる、貴重な体験を積むことができました。

益田運動公園陸上競技場において7月24日・25日に県中学校総合体育大会陸上競技が行われました。県内のトップアスリートたちとともに、雲南市飯南町の代表として、本校から田村君(3年男子100M・走幅跳)、森山君(走幅跳)、内田君(全年男子200M)の3年生男子3名が出場しました。猛暑の中、選手たちは「渾身の走り」や「気合いの跳躍」で精一杯に競技を行いました。大会では、思うような記録や結果は残せませんでしたが、島根県のトップレベルの力を肌で感じとる、貴重な体験を積むことができました。



気合いの跳躍